

No. 377
2002年
12月

OR学会だより

社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会
〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 3階
電話(03)3815-3351 代 Fax(03)3815-3352
http://www.orsj.or.jp/

○平成 15～16 年度役員候補者推薦のお願い

定款に従って平成 15, 16 両年度の役員の選出を行います。スケジュールは次の通りです。

- 平成 15 年 1 月 31 日(必着) 候補者推薦締切。
- 2 月中旬～3 月上旬 会員の書面による投票。
- 3 月 開票(予定)。
- 来年度総会において承認の予定。

ついでには、以下により候補者の推薦をお願いいたします。

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会 監事 根本忠明, 平尾信正

1. 役員(理事・監事)候補者については本人の同意を得たうえで、正会員または名誉会員 5 名以上が候補者の略歴をつけて、推薦する(下記の書式に従ってください)。
2. 候補者は名誉会員または個人正会員でなければならない。
3. 理事は会務の分担ごとに選挙するので、分担を明示すること。今回選出する理事の会務分担および定数は次の通りとする。
副会長 2 名 庶務 1 名 研究普及 1 名 編集 1 名 国際 1 名 無任所 1 名 (支部所属者 1 名)
4. 監事の改選数は 1 名。

..... 切 り 取 り 線

平成 年 月 日

役員候補者推薦届

(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会選挙管理委員会殿

平成 15～16 年度日本オペレーションズ・リサーチ学会の役員

- 副会長 庶務理事 研究普及理事 編集理事 国際 無任所理事
- 監事として

_____ 氏を推薦いたします。

推薦者(正会員または名誉会員 5 名以上)

(代表者) 氏名 _____ (所属: _____)

_____ (印) _____ (印) _____ (印)

_____ (印) _____ (印) _____ (印)

候補者略歴(18 字×6 行以内)

上記の推薦に同意します。氏名 _____ (所属: _____)

学
会
だ
よ
り

◎ 日本 OR 学会各賞候補ご推薦のお願い

本学会では、毎年 OR 学会文献賞、実施賞、普及賞、事例研究賞、学生論文賞を贈り、それぞれの分野で顕著な仕事をされた個人や企業を表彰しております。今年度の受賞候補者のご推薦を募ります。締切は学生論文賞を除き、平成 15 年 1 月 7 日といたしますので、それに間に合うよう、学会所定の用紙をお早めに事務局宛にご請求ください。なお、5 賞の概要は次のとおりです。

〔文献賞〕 大西記念文献賞に引き続いて設けられた本会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす論文の著者をご推薦ください。

1. 論文は独創性と将来性に富み、OR の発展に寄与するものであること。
2. 論文は OR 学会発行の論文誌またはこれに相当する権威ある雑誌、論文集にその年（原則として、14 年の 1 月 1 日より 12 月末日までに発行されたものをいう）に発表された論文であること。
3. 被推薦者は OR 学会員で、年齢は原則として 40 歳以下であること。

なお、論文の著者が複数以上あるときには、主としてその論文の作成にあたった者をもって代表とし、被推薦者とします。

〔実施賞〕 OR の実施を強く推進してきた個人、グループまたは企業等に贈られます。最近の 5 年間では、富士通(株)ソフトウェア事業本部ミドルウェア事業部、(株)ゼクセル技術本部、(株)数理システム、日本ガイシ(株)開発センター、三菱重工業(株)高砂研究所が受賞しています。

〔普及賞〕 OR の普及に大きな貢献をした個人、グループまたは企業等に贈られます。最近の 5 年間では、伊理正夫、高橋磐郎、権藤 元、牧野都治、海辺不二雄、小笠原 暁、青沼龍雄、松井知己、伊倉義郎、平尾信正の各氏が受賞しています。

〔事例研究賞〕 学会員の行ったすぐれた事例研究に対して贈られます。学会員個人に限らず、学会員を含むグループも対象になります。事例研究は、原則として学会誌、学会の大会等、本学会において発表されたものといえます。

また、事例研究の対象としては、OR の教育・実務において広く学会員に役立つソフトウェアの開発も含みます。但し、学会誌、学会の大会等、本学会におい

て発表またはデモンストレーションされたものに限ります。なお、ソフトウェアの開発の場合は、そのソフトウェアの本体あるいはサブセット版（機能限定等）が無償で学会員に提供されることが前提になりますが、本体が市販される目的で開発されたかどうかは問いません。

〔学生論文賞〕 学生による優れた OR に関するすぐれた研究に対して贈られるものです。対象は、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文とします。

応募締切は平成 15 年 3 月 31 日といたしますが、詳しい募集要領は、OR 誌 2 月号に掲載します。

(表彰委員会)

◎ 第 49 回シンポジウム

日 程：平成 15 年 3 月 17 日(月) 13:00 より

場 所：慶應義塾大学理工学部矢上校舎

実行委員長：森 雅夫（慶應義塾大学）

テーマ：「数理計画の理論と実装」

問合せ先：〒 223-8522 横浜市港北区日吉 3-14-1

慶應義塾大学理工学部管理工学科

小澤正典 E-mail: ozawa@ae.keio.ac.jp

Tel.045(566)1624 Fax.045(566)1617

◎ 平成 15 年春季研究発表会

日 程：平成 15 年 3 月 18 日(火)、19 日(水)

場 所：慶應義塾大学理工学部矢上校舎

実行委員長：西野寿一（慶應義塾大学）

特別テーマ：「人とシステムと OR」

発表申込締切：平成 14 年 12 月 10 日(火)

* 研究発表は、申込書、アブストラクト、及び著作権の承諾書の提出をもって申込受付とします。

申込書請求先：

(株)日本オペレーションズ・リサーチ学会

Tel.03(3815)3351(代) Fax.03(3815)3352

問合せ・アブストラクト送付先：

〒 223-8522 横浜市港北区日吉 3-14-1

慶應義塾大学理工学部管理工学科

小澤正典 E-mail: ozawa@ae.keio.ac.jp

Tel.045(566)1624 Fax.045(566)1617

◎ 第 50 回シンポジウム

日 程：平成 15 年 9 月 9 日(火)

場 所：会場未定

実行委員長：川崎英文（九州大学大学院）

テーマ：未定

問合せ先：〒810-8570 福岡市中央区天神1-11-17
（福岡ビル）

池上匡亮（西日本鉄道株式会社）

E-mail: ikegami@nnr.co.jp Tel.092(734)1252

古川哲也（九州大学） Tel.092(642)2445

E-mail: furukawa@en.kyushu-u.ac.jp

○平成15年秋季研究発表会

日程：平成15年9月10日(水)、11日(木)

場所：福岡大学

特別テーマ：「アジアに広がるOR」（仮題）

実行委員長：斎藤参郎（福岡大学）

問合せ先：〒810-8570 福岡市中央区天神1-11-17
（福岡ビル）

池上匡亮（西日本鉄道株式会社）

E-mail: ikegami@nnr.co.jp Tel.092(734)1252

古川哲也（九州大学） Tel.092(642)2445

E-mail: furukawa@en.kyushu-u.ac.jp

○平成14年度 第3回ORセミナー

「データマイニングの実践と応用」

開催趣旨：

本セミナーでは、ビジネスの基幹業務として実践段階に入ったデータマイニングを取り上げ、先進的な事例を中心に分かりやすく解説します。また、セミナーの新しい試みとして、ワンストップ・セミナーの位置付けで、学会誌9月号（データマイニング特集号）の論文執筆者を講師にお招きして、学会誌の内容に沿ったご講演をいただきます。当日は学会誌9月号を教材・資料として参加者に配布予定です。

対象：CRM/マーケティング/ビジネスインテリジェンス/金融分野などのORワーカーと関連業務を实践されている方、これからデータマイニングを利用しようとしている方、新入社員や学生（特にMBAコースの院生）等

日時：12月6日(金) 9:30~17:45

会場：日本IBM本社オーディトリウム

（地図 <http://www-6.ibm.com/jp/ibm/map/hq.html>）

プログラム：

(1) 9:30~10:45

「データマイニングの現状についてーリレーション

シップ・データへのデータマイニングの適用」

香田正人（筑波大学）

CRMを中心としたデータマイニングの实践と応用を概観して、問題解決のベストプラクティスを解説する。

(2) 11:00~12:15 「相関ルールとその周辺」

岡田 孝（関西学院大学）

今後ともに非常に重要な役割を果たすと考えられる相関ルールの方法について、その基礎と最近の発展について解説する。

(3) 13:30~14:45

「マーケティングにデータマイニングを活かす」

佐藤雅春（NTTコムウェア）

必要性が高まっている「個」を対象とするマーケティングに、データマイニングはどのように対応できるのか、事例を通して解説する。

(4) 15:00~16:15

「データマイニングを企業で成功させる方法」

大内雅晴（日本アイ・ビー・エム）

企業においてデータマイニングを適用する課題について、実施すべき事項に占めるデータマイニングの割合は20%に満たない。

では、どうすれば課題は解決されるのか。

(5) 16:30~17:45

「海外におけるデータマイニング事例」

山端 博（日本アイ・ビー・エム）

USのデータマイニング事例から、保険業界と公共機関におけるケースを2例選択し、ビジネス事情及びデータマイニング手法適用の特徴について解説する。

協賛学会：日本ダイレクトマーケティング学会、日本経営工学会、情報処理学会

申込先：

日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局

Tel.03(3815)3351 Fax.03(3815)3352

E-mail: kenkyu@orsj.or.jp

（11月号に申込書の綴込みがあります）

○平成14年度第1回OR企業フォーラムのご案内

日時：平成15年1月25日(土) 14:00~19:30

（懇親会を17時半から行います。）

場所：〒601-8407 京都市南区西九条寺ノ前町10-5
京都コンピュータ学院 京都駅前校 6Fホール

Tel.075(671)1911

(交通) JR 京都駅八条口より徒歩 3 分

地図は下記 URL でもご覧いただけます。

<http://www.kcg.ac.jp/kcg/kcg.html>

今回の OR 企業フォーラムは、京都コンピュータ学院創立 40 周年記念事業と共催で開催されます。

第 1 部 (14:00~15:30):

テーマ:「コンピュータ教育 40 年の道」

ゲストスピーカー: 京都コンピュータ学院

学院長 長谷川靖子氏

第 2 部 (15:50~17:20):

テーマ:「ニュービジネス追求事例—市場ニーズと企業シーズの狭間で」

ゲストスピーカー: 住友精密工業株式会社

専務取締役 中村洋明氏

申込み先:

(株)日本オペレーションズ・リサーチ学会事務局

E-mail: forum@orsj.or.jp

Tel.03(3815)3351 Fax.03(3815)3352

*1月17日(金)までにお申込み下さい。(12月号に申込書の綴込みがあります)。

必要事項:①フォーラムの開催日②お名前③所属組織・部署名④連絡先住所⑤TEL または FAX 番号

● **研究部会・グループ開催案内**

(不確実性下のモデル分析とその応用)

・第 6 回

日 時:12月14日(土) 14:00~17:00

場 所:九州大学経済学部 2 階中会議室

テーマと講師:

(1)「マルコフ決定過程におけるリスク評価と動的計画法」

藤田敏治 (九州工業大学), 小林正和, 原田美和 (九州工業大学)

(2)「ロジスティクス・システムにおける平均在庫と情報共有の効果について」

大久保幸夫 (鹿児島国際大学)

*研究会終了後、忘年会を開催します (若干の経費負担をお願いします)

問合せ先:九州大学大学院経済学研究院

時永祥三 Tel/Fax.092(642)2466

E-mail: tokinaga@en.kyushu-u.ac.jp

[AHP 理論と実際]

・第 14 回

日 時:12月17日(火) 14:00~17:00

場 所:勸電力中央研究所大手町第 1 会議室

千代田区大手町 1-6-1 大手町ビル 7 階 733 室

テーマと講師:

(1)「最適化問題としての AHP」

飯田孝久 (慶応大学)

(2)「行政における政策評価に対する AHP の応用」

佐藤祐司 (松阪大学)

問合せ先:勸電力中央研究所 大屋隆生

Tel.03(3480)2111 Fax.03(5497)0318

E-mail: ohya@criepi.denken.or.jp

[OR/MS とシステム・マネジメント]

・第 5 回

日 時:12月21日(土) 13:30~16:00

場 所:東京工業大学百年記念館 2 階第一会議室

テーマと講師:

「キヤノンにおける企業革新とその推進」

渡部國男 (取締役企画本部長)

問合せ先:神奈川工科大学情報工学科 田中宏和

Tel.046(291)3203

E-mail: tanaka@ic.kanagawa-it.ac.jp

[待ち行列]

・第 168 回

日 時:12月21日(土) 14:00~16:30

場 所:東京工業大学西 8 号館 (W)809 号室

テーマと講師:

(1)「ピアツーピア (P2P) ネットワークの動向」

川島幸之助 (東京農工大学)

(2)「マルコフ的ネットワークにおけるノード到着過程の Laplace-Stieltjes 変換の導出とその特性」

加藤憲一 (山形大学)

問合せ先:奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科 笠原正治

Tel.0743(72)5351

E-mail: kasahara@is.aist-nara.ac.jp

[評価の OR]

・第 16 回

日 時:12月21日(土) 13:00~17:30

場 所:政策研究大学院大学 3 階教室 E

都営新宿線「あけぼの橋」下車徒歩 10 分, もしくは都営地下鉄大江戸線「若松河田」下車徒歩 4 分, 東京女子医大のとなり, 旧税務大学の跡地

テーマと講師：

- (1)「台形型ファジイ数を用いた DEA モデル」
田中敏朗 (法政大学大学院)
- (2)「制約を含む AHP・数理モデルの構築」
古川公一 (法政大学大学院)
- (3)「bootstrap 法を用いた確率的 DEA に関する研究」
来田健司 (法政大学大学院)
- (4)「区間効率値とその改善」
円谷友英 (高知大学)
- (5)「Sensitivity analysis of AHP and ANP」
関谷和之 (静岡大学)

* 終了後に忘年会を近くで予定

・学生大会 (1月号に詳細を掲載)

日 時：平成 15 年 1 月 25 日(土) 午後
2 月 8 日(土) 午後

場 所：政策研究大学院大学

問合せ先：日本大学生産工学部数理情報工学科
篠原正明
Tel.047(474)2672
E-mail: m7sinoha@cit.nihon-u.ac.jp

○ 会合案内

〔第 224 回新宿 OR 研究会〕

日 時：平成 15 年 1 月 21 日(火) 12:00~13:30

場 所：東天紅会議室 (新宿センタービル 53 F)

テーマ：「地震を知る」

講 師：萩尾堅二 (財原子力発電機構)

参加費：3,000 円

問合せ先：日本 OR 学会事務局

○ 他学協会案内

他学会等が主催する大会やシンポジウムで当学会が協賛しているものについては、原則として主催学会の会員と同じ費用で参加できますので、皆様奮ってご参加ください。

・第 52 回システム制御情報講習会 (協賛)

主 催：システム制御情報学会

テーマ：「GPS/GIS の最新動向とその応用」

日 程：平成 15 年 1 月 23 日(木), 24 日(金)

場 所：住友電設(株)大阪本社会議室 10-K, L, M
(大阪市西区阿波座 2-1-4)

問合せ先：システム制御情報学会 講習会係
Tel.075(751)6413 Fax.075(751)6037
E-mail: jigyou@iscie.or.jp

* 詳しくは、

<http://www.iscie.or.jp/seminar.html#koushu> を
ご覧ください。

○ 公募案内

・豊橋技術科学大学 工学部 生産システム工学系

募集人員：助教授または講師 1 名

所 属：生産システム工学系 生産計画学講座

専門分野：生産システム工学, プロセス・システム工
学, システムマネジメント学, 知能機械システム工
学, 環境情報システム工学

担当科目：システム工学および生産システム工学並び
に同演習

応募資格：博士の学位を有し、学部生並びに大学院生
の指導ができる方で、40 歳以下が望ましい。

着任時期：平成 15 年 4 月 1 日予定

提出書類：(1)履歴書 (本人自筆, 写真添付), (2)業績
リスト (著書, 原著論文, 総説・解説論文, 国際会
議論文, 特許等に区別して記載), (3)主要論文別刷
(5 編程度, コピーも可), (4)既往の研究内容説明書
(ジャンル別に A 4 用紙 2~3 枚に要約のこと), (5)
研究教育の抱負と研究計画 (1000 字程度), (6)推薦
書または参考意見を伺える方の氏名, 所属, 連絡先,
(7)その他 (最近の外部資金導入実績および特筆すべ
き事柄)

応募締切：平成 15 年 1 月 17 日(金)必着

書類送付及び問合せ先：

〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘 1-1
豊橋技術科学大学工学部生産システム工学系
系長 堀内 宰教授

* 封筒に「生産計画学分野 教官応募書類」と朱書き
し、簡易書留にて送付のこと。

学会事務局年末年始休業のお知らせ

平成 14 年 12 月 30 日(月)~平成 15 年 1 月 6 日(月)

査読者へのお礼

今年度のOR誌の論文・研究レポート、論文・事例研究の査読を次の方々をお願いいたしました。

ご協力いただきましてありがとうございました。この場を借りて厚くお礼を申し上げます。

(機関誌編集委員会)

青沼君明, 阿部 誠, 井上明也, 上田 徹, 大澤義明, 大屋隆生, 岡太彬訓, 葛山康典, 木島正明, 木下栄蔵, 栗田 治, 杉原左右一, 鈴木賢一, 関谷和之, 高倉 満, 高橋敬隆, 竹原 均, 中尾昌善, 中川慶一郎, 中村 博, 生田目 崇, 西澤一友, 森健一, 守口 剛, 谷内正文, 山田 茂 (敬称略)

○平成15年度会費納入のお願い(事務局)

平成15年度の会費請求書をお送りいたしましたので、お早めにご送金くださるようお願いいたします。なお、14年度以前の会費を未納の方は合わせてお支払いくださるよう重ねてお願いいたします。

[預金口座振替ご利用の方へ]

平成15年度会費振替は平成15年1月20日(月)になります。振替金額の不足のないよう、預金残高をご確認いただければ幸いです。

預金口座振替をご希望の正会員の方は、学会事務局までTEL, FAX, 郵便にてご連絡ください。折り返し預金口座振替依頼書をお送りいたします。

●おめでとうございます! OR学会

皆様ご高承のことと思いますが、さる11月3日文化の日、本学会名誉会員・元会長の近藤次郎先生が文化勲章を受章されましたのでお知らせいたしますとともに、ここにお祝い申し上げます。

会 合 記 録

10月26日(土) 論文誌編集委員会 12名

学会だより

[2003 年度 洋雑誌ご購入案内]

お申込みは当学会事務局へ (申込締切: 12 月末日)

全世界の OR に関する文献の Abstracts 専門誌

IAOR を活用しよう

IAOR (International Abstracts in Operations Research) は IFORS (International Federations of Operational Research Societies) が発行している世界の OR 関係の論文および単行本の英文アブストラクト誌です。約 2400 編のアブストラクトが収録されています。カバーされている雑誌は、主要なものだけでも 50 種を超えています。2003 年は Vol. 54 が発行されます。

内容は、モデル、実施例、理論の 3 つの部門にわかれ、その中がさらに細かく分類されています。著者索引および非常に便利な項目索引もあって文献を探すのにとても便利です。

2003 年購読料: 15,000 円 (送料込, 年 8 回, 8 冊)

雑誌 EJOR 購読者募集

European Journal of Operational Research (EJOR) は、Association of European Operational Research Societies (EURO) と North Holland 出版社との共同出版によるものです。個人購入もできますが、当学会では、割引価格でお取り扱いしています。2003 年は、Vol. 144~151 が発行されます。

使用言語: 英語

内容: あらゆる分野における OR に関する優れた論文、連絡事項として、letters や新刊書(最近 1 年間のもの)の批評、短評(紹介)。

参考 (2002 年購読料):

個人 43,000 円 (送料込, 年 24 回, 8 巻, 24 冊)

大学 475,000 円 (送料込, 年 24 回, 8 巻, 24 冊)

APORS の論文誌 “APJOR” への ご投稿とご購入のお願い

APJOR (Asia-Pacific Journal of Operational Research) は、その Official Journal という性格から、APORS 加盟各国から Associate Editors への参加が求められており、日本 OR 学会からは、茨木俊秀教授 (京都大学) が参加されています。これからも同誌を一層もり立ててゆくため、論文の投稿・雑誌の購読についてご協力をお願いいたします。2003 年は Vol. 20 が発行されます。

雑誌はシンガポール OR 学会から貴殿宛直接送られます。

(5 月・11 月発行予定)

2003 年購読料: 2,500 円 (送料込, 年 2 回, 2 冊)